

# 2007年度 中間連結決算 ご説明資料

2007年10月25日  
 新日鐵化学株式会社  
 TEL : 03-5207-7600

## 1. 2007年度中間決算概況

### (1) 連結損益状況 (億円)

	2006 中間	2007 中間	差異
売上高	1,583	1,493	×90
営業利益	125	144	○19
<b>経常利益</b>	<b>121</b>	<b>147</b>	<b>○26</b>
特別損益	▲5	▲5	○0
法人税、税効果等	▲46	▲62	×16
少数株主損益	▲12	▲12	○0
当期純利益	58	68	○10

ROS(経常利益/売上高)	7.7%	9.8%	○2.2%
---------------	------	------	-------

	2007.3末	2007.9末	増減
<b>有利子負債</b>	<b>634</b>	<b>347</b>	<b>▽287</b>

当上期のわが国経済は、原油価格の高騰など懸念材料はありましたが、企業収益の伸びを背景とした堅調な設備投資などに支えられ、景気拡大が続きました。当社におきましては、コールケミカル、化学製品事業では、国内外の旺盛な需要が続いたことから製品市況は堅調に推移しました。回路基板材料事業については、2層CCL市場の競争激化の影響を受ける結果となりました。また、君津コークス事業については、本年7月1日をもって、新日本製鐵㈱への吸収分割を行ないました。

この結果、当社の2007年度中間期連結売上高は1,493億円、連結経常利益は147億円（中間期としては過去最高）となりました。また、当中間期のROSは9.8%、当中間期末の連結有利子負債残高は347億円となりました。

### (2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

		2006 中間	2007 中間	差異	主要製品
ケミカル	売上高	約590	約450	×140	高炉用コークス、鋳物用コークス(7/1新日鐵へ分割吸収)、製鉄用ガスピッチコークス、ピッチ、95%ナフリン、無水フタル酸 カーボンブラック、特殊炭素製品
	経常利益	約70	約70	～	
化学製品	売上高	約730	約810	○80	芳香族、スチレンモノマー、ビスフェノールA、機能性化学品等
	経常利益	約40	約70	約○30	
回路基板材料・機能樹脂	売上高	約240	約230	×10	2層CCL(エスパネットス)、HDDサスペンション材料 LCDカラーフィルター用レジスト、有機EL材料、半導体実装材料 MS、ABS、エポキシ樹脂
	経常利益	約10	～	約×10	
連結計	売上高	1,583	1,493	×90	
	経常利益	121	147	○26	

### (3) 連結キャッシュ・フロー (億円)

	2006 中間	2007 中間	2006 年度
現金・現金同等物の期首残高	25	21	25
経常利益	(121)	(147)	(263)
税金等調整前当期純利益	116	142	246
減価償却費	51	49	107
事業構造改善費用の戻し	7	0	6
売上債権・仕入債務増減他	△86	△48	△121
営業活動によるキャッシュ・フロー A	88	143	238
固定資産取得	△42	△27	△64
固定資産・投資有価証券売却他	18	84	34
投資活動によるキャッシュ・フロー B	△24	57	△30
借入金返済	△63	△188	△208
少数株主への配当	△4	△9	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67	△197	△212
範囲変更/換算差額	△0	0	△0
現金・現金同等物の期末残高	22	24	21
<b>フリーキャッシュ・フロー A+B</b>	<b>64</b>	<b>200</b>	<b>208</b>

### (4) 経済指標・製品価格他

	2006年度実績			2007年度見通		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替 (円/\$)	115	119	117	119	115	117
原油 (\$/BBL)	68.0	59.3	63.7	67.7	75.0	71.4
ナフサ (\$/BBL)	68.1	62.4	65.3	75.5	82.0	78.8
国産ナフサ (千円/kl)	51.4	48.6	50.0	58.7	60.0	59.4
SM台湾CIF (\$/t)	1,220	1,280	1,250	1,360	1,300	1,330
BPA中国CIF (\$/t)	1,400	1,700	1,550	1,950	1,900	1,925

	2006年度		2007年度	
	中間	年度	中間	年度
設備投資額	24	46	20	55
減価償却費	51	107	49	100
研究開発費	24	48	24	50
金融収支(負担金利)	△3	△7	△3	△7

\* いずれも連結ベース

## (5) 資産／負債状況

(億円)

科目	2007.9末	2007.3末	増減	科目	2007.9末	2007.3末	増減
流動資産	866	957	-91	流動負債	885	1,070	-185
内、現金預金	21	16	5	内、支払手形・買掛金・未払費用	529	610	-81
受取手形・売掛金	450	471	-21	短期借入金	251	336	-85
棚卸資産	220	241	-21	固定負債	229	454	-225
繰延税金資産	11	12	-1	内、長期借入金	96	298	-202
その他	164	217	-53	退職給付引当金	107	128	-21
固定資産	997	1,246	-249	繰延税金負債	15	15	0
内、有形固定資産	595	808	-213	負債計	1,114	1,524	-410
無形固定資産	0	0	0	株主資本	648	585	63
投資その他の資産	402	438	-36	内、資本金	50	50	0
(投資有価証券)	(207)	(203)	(4)	資本準備金	83	83	0
(繰延税金資産)	(133)	(174)	(-41)	利益剰余金	515	452	63
(その他)	(62)	(61)	(1)	評価・換算差額	49	46	3
資産合計	1,863	2,203	-340	少数株主持分	52	48	4
				純資産計	749	679	70
				負債純資産合計	1,863	2,203	-340
				有利子負債合計	347	634	-287
				自己資本	697	631	66
				D/E比率	0.5倍	1.0倍	
				自己資本比率	37.4%	28.6%	

## 2. 2007年度見通し

下期については、原油・ナフサ価格の高騰、不安定な為替相場、米国経済の減速懸念など、事業環境は不透明感が増しております。こうした中、当社グループは、コールケミカル、化学品事業などの中核事業の基盤強化を図る一方、新事業開発・上市のスピードアップを図り、将来に向けた収益基盤の強化を進めてまいります。

## (1) 連結損益状況

(億円) (2) セグメント別売上高・経常利益

(億円)

	2006年度	2007年度	中計	グランドデザイン	2006年度実績		2007年度見通し		
	年度	年度			2008	2010	売上高	経常利益	売上高
売上高	3,187	2,830	2,900		約1,140	約140	約740	約130	
経常利益	263	235	250	300	約1,530	約110	約1,600	約120	
ROS	8.3%	約8%	9%	10%以上	約510	約10	約490	~	
有利子負債	634	340	400		連結計	3,187	263	2,830	235
自己資本比率	28.6%	約40%	42%	50%					
D/E比率	1.0倍	0.5倍	0.5倍						

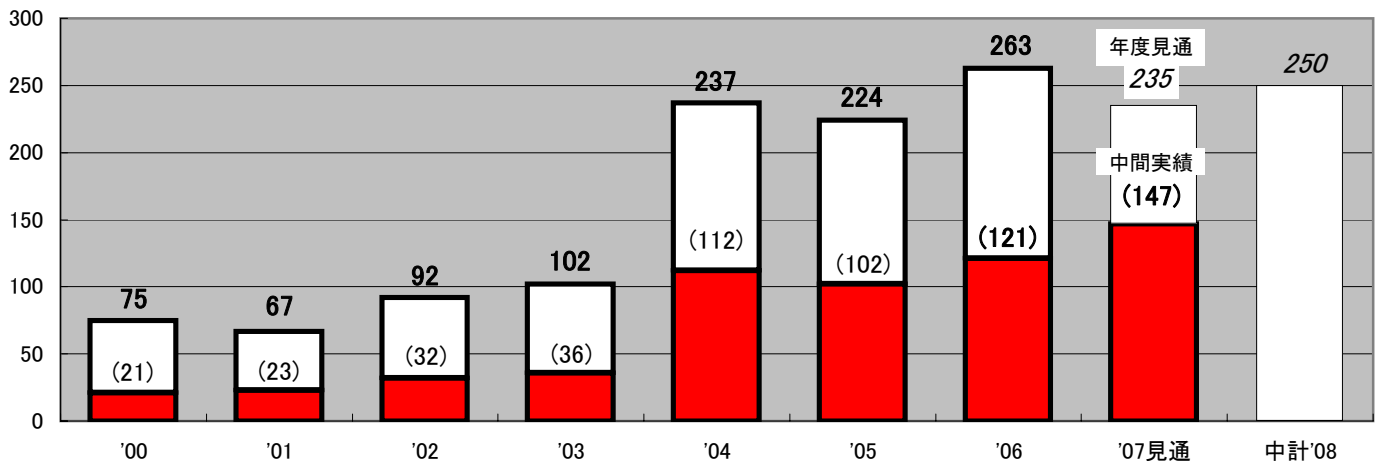
## (3) 経済指標・製品価格他

(億円)

	2007	2007	2007	2007	
	上期実績	下期見通			上期実績
為替 (円/\$)	119	115	設備投資額	20	35
国産ナフサ (千円/kL)	58.7	60.0	減価償却費	49	51
SM台湾CIF (\$/t)	1,360	1,300	研究開発費	24	26
BPA中国CIF (\$/t)	1,950	1,900	金融収支(負担金利)	△3	△4

&lt;連結経常利益の推移&gt; □ 年度 (■ 中間)

(億円)



## 2007年度上期の概況について

### 1. コールケミカル事業

コールケミカル事業については、原料価格の上昇が収益悪化要因となりましたが、世界経済の拡大により、95%ナフタリン、無水フタル酸等の製品市況は堅調に推移しました。人造黒鉛電極用ニードルコークスについても、製品需給引き締まりを背景に、製品価格の改善を進めております。石炭系ニードルコークス LPC-US は、国内外のユーザーより石油系 No.1 グレード同等以上の品質評価を頂き、販売量は順調に増加しております。特殊炭素製品については、半導体・ソーラー発電等向けの旺盛な需要に応えるため、本年7月に能力増強（年 4,500 t → 年 6,000 t）を行いました。既に更なる能力増強（年 6,000 t → 8,000 t、08年12月完工予定）に着手しました。

### 2. 化学品事業

原油・ナフサ価格の高騰が続きましたが、アジア地区の旺盛な需要により、SM・BTX等の製品市況は堅調に推移しました。BPAについても、ポリカーボネート樹脂・エポキシ樹脂向け需要増加に伴い、製品市況は上昇しました。こうした中、当社は芳香族製品の製造・供給体制強化のため、大分製造所のトルエン専用タンクの新設（6,000Kℓ、07年11月完工予定）、広畑製造所のベンゼン設備の増強を進めております。足元、更に原油・ナフサ価格が高騰しており、製品価格の改善が課題となっております。

### 3. 回路基板材料・機能樹脂事業

エスパネックスについては、販売量は前年度同期比1割程度増加の伸びを見せておりますが、競争激化の影響を受けております。引続き、ユーザーの動向をきめ細かく捕捉し、十分な生産能力（年 850 万㎡、木更津・戸畑の2拠点体制）を活かして、拡販を図っていくとともに、収益改善に向け一層のコスト改善に取り組んでいきます。

液晶カラーフィルター用レジストインクのうちブラックマトリックスについては、国内ユーザーより品質評価を頂き、販売量は順調に増加しております。有機 EL 材料については、今年度中に青色燐光材料の開発を終え、フルカラー有機 EL 材料のラインアップを目指してまいります。

エポキシ樹脂については、環境への関心の高まりを背景にハロゲン物質の使用を控える動きが加速していることから、昨年能力増強を行ったハロゲンフリーのリン系難燃エポキシ樹脂の販売が好調であり、既に更なる能力増強（年 5,400 t → 7,100 t、08年4月完工予定）に着手しました。

(財)財務会計基準機構会員)



## 07年度 中間連結決算概要

## 1. 損益状況

(単位: 億円)

	06中間	07中間	増減	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度見通 (H19)
売上高	1,583	1,493	△90	2,985	3,187	2,830
営業利益	125	144	19	221	265	235
経常利益	121	147	26	224	263	235
当期純利益	58	68	10	131	113	N.A
ROS(売上高経常利益率)	7.7%	9.8%		7.5%	8.3%	8.3%

## 2. セグメント別売上高

	06中間	07中間	増減	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度見通 (H19)
コールケミカル	590	450	△140		1,140	740
化学品	730	810	80		1,530	1,600
回路基板材料・機能樹脂	240	230	△10		510	490
合計	1,583	1,493	△90		3,187	2,830

## 3. 貸借対照表

	06中間	07中間	増減	05年度 (H17)	06年度 (H18)
流動資産	961	866	△95	775	957
有形固定資産	877	595	△282	918	808
無形固定資産	0	0	0	1	
投資等	470	402	△68	493	438
資産計	2,308	1,863	△445	2,187	2,203
有利子負債	787	347	△440	850	634
その他負債	921	767	△154	800	890
少数株主持分	37	52	15	29	48
自己資本	563	697	134	508	631
負債純資産計	2,308	1,863	△445	2,187	2,203
自己資本比率	24.4%	37.4%		23.2%	28.6%

## 4. キャッシュ・フロー

	06中間	07中間	増減	05年度 (H17)	06年度 (H18)
営業キャッシュ・フロー	88	143	55	247	238
投資キャッシュ・フロー	△24	57	81	△50	△30
(フリーキャッシュ・フロー)	64	200	136	197	208
財務キャッシュ・フロー	△67	△197	△130	△210	△212
その他			0	1	
現預金等増減	△3	3	6	△12	△4

## 5. 主要指標

	06中間	07中間	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度見通 (H19)	
設備投資額	億円	24	20	80	46	55
減価償却費	億円	51	49	93	107	100
研究開発費	億円	24	24	39	48	50
金融収支(負担金利)	億円	△3	△3	△7	△7	△7
期末有利子負債残高 ( " 対前期増減)	億円	787 (△63)	347 (△287)	850 (△243)	634 (△216)	340 (△294)
為替レート	円/US\$	115.3	119.4	113.0	117.0	117.0
国産ナフサ価格	千円/KL	51.4	58.7	42.4	50.0	下期 60.0

注) 設備投資額は、有形・無形固定資産増減(建設仮勘定編入)ベース。  
研究開発費は、費用算入ベース。

## 連結中間財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (07.9.30現在)	前 期 (07.3.31現在)	前年中間期 (06.9.30現在)	科 目	当中間期 (07.9.30現在)	前 期 (07.3.31現在)	前年中間期 (06.9.30現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	86,638	95,700	96,099	流 動 負 債	88,560	107,046	124,561
現金及び預金	2,133	1,577	1,841	支払手形及び買掛金	44,547	49,122	52,637
受取手形及び売掛金	45,029	47,123	49,634	短期借入金	25,091	33,649	48,091
たな卸資産	21,969	24,075	21,897	未払費用	8,360	11,916	11,621
その他の	17,553	22,979	22,784	事業構造転換損失引当金	—	—	783
貸倒引当金	(-) 47	(-) 55	(-) 58	そ の 他	10,561	12,357	11,427
固 定 資 産	99,735	124,687	134,794	固 定 負 債	22,856	45,338	46,308
有形固定資産	59,468	80,808	87,703	長期借入金	9,559	29,792	30,656
建物及び構築物	18,753	22,306	24,646	再評価に係る繰延税金負債	1,532	1,532	1,532
機械装置及び運搬具	21,458	39,228	42,170	退職給付引当金	10,667	12,794	12,797
土地	17,062	17,433	17,650	そ の 他	1,097	1,219	1,321
その他の	2,192	1,839	3,235	負債合計	111,417	152,385	170,869
無形固定資産	25	30	39	(純資産の部)			
投資その他の資産	40,241	43,848	47,050	資 本 金	5,000	5,000	5,000
投資有価証券	20,683	20,294	20,316	資本剰余金	8,284	8,284	8,284
繰延税金資産	13,349	17,364	20,340	利益剰余金	51,497	45,198	39,763
その他の	7,045	7,055	7,260	株主資本合計	64,782	58,483	53,048
貸倒引当金	(-) 837	(-) 865	(-) 866	その他有価証券評価差額金	2,320	2,888	2,121
				土地再評価差額金	2,297	1,757	1,757
				為替換算調整勘定	356	△1	△618
				評価・換算差額等合計	4,974	4,644	3,260
				少数株主持分	5,199	4,875	3,714
				純 資 産 合 計	74,956	68,003	60,023
資 産 合 計	186,373	220,388	230,893	負債純資産合計	186,373	220,388	230,893

(自己資本)

(69,756)

(63,127)

(56,308)

## 中間連結損益計算書及び連結剰余金計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (07. 4. 1～07. 9. 30)		前年中間期 (06. 4. 1～06. 9. 30)		前 期 (06. 4. 1～07. 3. 31)	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%
売 上 高	149,395	100.0	158,343	100.0	318,776	100.0
売 上 原 価	124,442		134,707		270,933	
売 上 総 利 益	24,953	16.4	23,637	14.9	44,243	15.2
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	10,508		11,087		21,826	
営 業 利 益	14,445	9.7	12,549	7.9	26,556	8.3
受 取 利 息	35		17		59	
受 取 配 当 金	149		55		151	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	717		246		1,063	
そ の 他	515		477		756	
営 業 外 収 益	1,417		796		2,031	
支 払 利 息	307		335		713	
為 替 差 損	333		137		26	
そ の 他	520		732		1,508	
営 業 外 費 用	1,160		1,205		2,248	
営 業 外 損 益	256		△409		△217	
経 常 利 益	14,701	9.8	12,140	7.7	26,338	8.3
固 定 資 産 売 却 益	—		175		217	
投 資 有 価 証 券 等 売 却 益	—		1		96	
特 別 利 益	—		176		313	
固 定 資 産 売 却 損 失	527		—		—	
事 業 構 造 改 善 費 用	—		651		581	
固 定 資 産 減 損 損 失	—		—		1,315	
投 資 有 価 証 券 売 却 損 失 等	—		—		118	
特 別 損 失	527		651		2,016	
特 別 損 益	△527		△474		△1,703	
税金等調整前中間(当期)純利益	14,174	9.5	11,665	7.4	24,635	7.7
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	2,637		2,441		5,052	
法 人 税 等 調 整 額	3,460		2,223		5,988	
少 数 株 主 利 益	△1,237		△1,178		△2,338	
中 間 (当 期) 純 利 益	6,838	4.6	5,821	3.7	11,256	3.5

## 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (07. 4. 1～07. 9. 30)	前年中間期 (06. 4. 1～06. 9. 30)	前 期 (06. 4. 1～07. 3. 31)
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	8,284	8,284	8,284
資 本 剰 余 金 期 末 残 高	8,284	8,284	8,284
(利益剰余金の部)			
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	45,198	33,942	33,942
中 間 (当 期) 純 利 益	6,838	5,821	11,256
利 益 剰 余 金 増 加 高	6,838	5,821	11,256
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 に よ る 減 少	△539	—	—
利 益 剰 余 金 減 少 高	△539	—	—
利益剰余金中間期末(期末)残高	51,497	39,763	45,198

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (07. 4. 1～07. 9. 30)	前年中間期 (06. 4. 1～06. 9. 30)	前 期 (06. 4. 1～07. 3. 31)
	金 額	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前当期純利益	14,174	11,665	24,635
2. 減価償却費	4,948	5,138	10,682
3. 受取利息及び受取配当金	△ 184	△ 72	△ 210
4. 支払利息	307	335	713
5. 持分法による投資利益	△ 717	△ 246	△ 1,063
6. 事業構造転換損失	—	651	581
7. 固定資産減損損失	—	—	1,315
8. 売上債権、仕入債務の増減額	86	2,010	578
9. たな卸資産の増減額	260	△ 1,012	△ 4,074
10. その他	△ 976	△ 7,211	△ 5,295
小 計	17,897	11,259	27,862
11. 利息及び配当金の受取額	221	103	499
12. 利息の支払額	△ 369	△ 309	△ 657
13. 法人税等の支払額	△ 3,489	△ 2,272	△ 3,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,259	8,781	23,826
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産等の取得による支出	△ 2,697	△ 4,225	△ 6,432
2. 有形固定資産等の売却による収入	379	1,935	3,156
3. コークス事業譲渡による収入	8,152	—	—
4. 投資有価証券等の売却による収入	8	61	602
5. その他の資産増減額	△ 153	△ 243	△ 336
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,688	△ 2,472	△ 3,008
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 借入金の借入、返済による収支	△ 18,809	△ 6,226	△ 20,811
2. 少数株主への配当金の支払額	△ 915	△ 406	△ 406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,724	△ 6,633	△ 21,218
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△ 8	16
V. 現金及び現金同等物の増加額	238	△ 332	△ 383
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,128	2,511	2,511
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,366	2,179	2,128